第一生命の地域貢献活動

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

全国3万7千名の生涯設計デザイナーを通じて、**地域の課題解決**に取り組んでいます。

For Health

健やかな暮らしのために

For Women

安心して働けるために

For Seniors

もしものときのために

For the Earth

地球環境のために

MESSAGE

第一生命保険株式会社
代表取締役社長
隅野俊亮

地域の皆さまと共に持続可能な社会の実現を目指します。

第一生命は、1902年の創業以来、「お客さま第一」を経営の基本理念として、各地域で人々の安心で豊かな暮らしの実現や地域課題の解決に努めてまいりました。社会は大きく変化しており、昨今では人々の価値観や生活スタイルもますます多様化しています。そのような中においても、当社は「一生涯のパートナー」として、「保障」と「資産形成・承継」における商品性やサービスの付加価値をさらに高めるだけではなく、「健康・医療」領域での各サービスのご提供や、人と地域や社会との新たな「つながり・絆」のあり方の探求を通じて、一人ひとりの異なる価値観や生き方が尊重され、多様な幸せと未来への希望に満ちた社会の実現に貢献してまいります。
日々、全国3万7千名の生涯設計デザイナーがお客さまにお会いし、確かな安心と充実した健康サポートをお届けしているように、地域の皆さまとのつながりが、第一生命の強みです。こうした強みを活かして、地域の皆さま、お客さまに、真っ直ぐに向き合い、持続可能な社会の実現を目指していきたいと考えています。

保障	資産形成・承継	健康・医療	つながり・絆
保険普及等による生活の安定	人生100年時代の安心な老後	あらゆる人々の健康の増進	安心・安全で住みやすい地域づくり

数字で知る第一生命

- 保険金・給付金のお支払い額　1日約 **47** 億円
- 創業　**1902** 年
- お客さま数　（個人）約 **950** 万人　（法人）約 **16** 万社
- 都道府県との包括連携協定数　**43**　2025年1月時点
- 総資産　約 **36** 兆円
- 社員数　約 **47,000** 名

2024年度時点

第一生命は
全国に広がるネットワークを活用し
地域の課題解決に
取り組んでいます。

47都道府県にとどまらず、
全国の市区町村も含めた
自治体との連携を広げています。

- 健康増進 For Health
- 女性の活躍推進 For Women
- 高齢者支援 For Seniors
- 地域活性化 For Society
- 地球環境 For the Earth
- 次世代支援 For Next Generation
- 安全・防災 For Safety
- スポーツ振興 For Sports

＼地域のネットワークと連携して課題解決へ／

第一生命

- 全国各地に広がるネットワーク
  - 生涯設計デザイナー　約3万7千名
  - 支社・営業オフィス　約1,170拠点
- 丁寧なお客さまフォローによる安心

2024年度時点

連携

地域のネットワーク

- 地域密着の強み
  - 自治体（都道府県・市区町村等）
  - 警察
- 情報やノウハウの共有
  - 専門医療機関
  - パートナー企業

今までも、これからも、地域のみなさまの健康づくりを応援しています。

第一生命の健康増進に関する歩み

1902年 第一生命保険相互会社創業

1913年 創業者の矢野恒太、北里柴三郎を助けるべく日本結核予防協会理事就任

創業当時の社屋

1935年 結核の予防・治療を目的として財団法人「**保生会**」設立

1939年 長期療養所「**保生館**」（**後の保生園、現・新山手病院**）開園

第1回保健文化賞贈呈式

1950年 保健衛生の向上を目的として「**保健文化賞**」創設

1959年 財団法人「**心臓血管研究所**」設立

1988年 健康・医療をはじめ人生設計について調査する「㈱**ライフデザイン研究所**」（現・㈱第一生命経済研究所）設立

1998年 医療・介護分野の調査・研究を目的として「㈱**第一生命ウェルライフサポート**」（現・㈱第一生命経済研究所）設立

2000年 健康・医療・介護等のサービスを充実する目的で契約者向けポイントサービス「**ドリームキングダム**」開始

2008年 契約者ポイントサービス「**ウィズパートナー**」を開始
全契約者に健康・介護等のサービスを展開

2012年 **国立がん研究センター**と連携開始（がん情報）
健康・医療・介護等の電話相談を契約者などから受け付ける「**メディカルサポートサービス**」開始

2013年 **公益財団法人がん研究会**と連携開始（がん情報）

2014年 **国立循環器病研究センター**と連携開始（循環器病情報）

2015年 **国立長寿医療研究センター**と連携開始（認知症その他の長寿医療情報）
市民マラソンへの協賛を柱とした「Run with You」プロジェクト開始
健康経営銘柄 認定

2016年 **国立成育医療研究センター**と連携開始（成育医療（小児・周産期）情報）

2017年 健康づくりをサポートする健康応援アプリ「**健康第一**」を公開
国立国際医療研究センターと連携開始（感染症および糖尿病・肝炎などの疾患情報）

2018年 **国立精神・神経医療研究センター**と連携開始（精神・神経・筋疾患などの疾患情報）

2024年 健康経営銘柄 認定
健康経営優良法人（大規模法人ホワイト500）認定（2017年より連続認定）

1 1935年当時の課題

【 結核対策 】

●1935年の死因

1位 結核　2位 肺炎・気管支炎　3位 胃腸炎

第一生命創業者の矢野恒太が「保生会」を設立

2 1959年当時の課題

【 循環器病対策 】

●1959年の死因

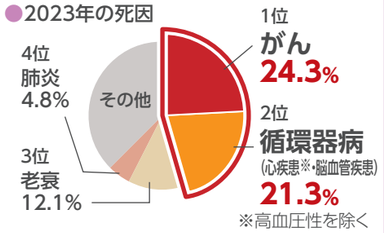
1位 脳血管疾患　2位 がん　3位 心疾患

専門研究・医療機関として「心臓血管研究所」を設立

3 現在の課題

【死因上位疾患への対策】

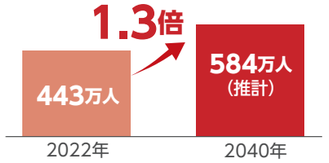
●2023年の死因



※高血圧性を除く

【 認知症対策 】

●認知症の高齢者数



国内最高峰の専門医療機関と連携

1935年・1959年の死因：厚生労働省／「我が国の人口動態」（2017）
2023年の死因：厚生労働省／「人口動態統計」（2023）
認知症の高齢者：厚生労働省／「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（2023年度）

健康増進 For Health　地域に根ざした健康増進活動に取り組む

■ **すべて**のナショナルセンターと連携し、正しい情報の提供や予防啓発に取り組んでいます。

国立がん研究センター
がん
リーフレットの発行やセミナーの共催などを通じて、がんの正しい知識をお伝えしています。

国立循環器病研究センター
循環器病
減塩レシピの普及活動およびリーフレットの発行やセミナーの共催などを通じて、循環器病に関する情報提供を行っています。

国立精神・神経医療研究センター
精神・神経・筋疾患
精神・神経・筋疾患などに関する正確かつ最新の健康・医療情報を発信しています。

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

国立長寿医療研究センター
認知症その他の長寿医療
認知症予防やその他の長寿医療に関する知識について情報提供を行っています。

国立成育医療研究センター
成育医療
成育医療に関する基礎知識や予防・治療について幅広く情報提供し、健全な次世代の育成をサポートします。

国立国際医療研究センター※
感染症・糖尿病・肝炎
感染症や糖尿病、肝炎などに関する正確かつ最新の健康・医療情報を発信しています。

※2025年4月、国立国際医療研究センターと国立感染症研究所が統合され、「国立健康危機管理研究機構」が創設されます

■ **社会貢献活動に関する包括連携を結び、地域社会の活性化および発展に取り組んでいます。**

主な取組内容
- 子どもの育成および子育て支援
- 健康増進
- スポーツ振興
- 地域社会の活性化

2017年9月
株式会社LDH JAPANと包括連携協定を締結
（親子ダンス教室の共催 など）

2018年2月
公益社団法人日本プロゴルフ協会と包括連携協定を締結
（ゴルフイベントの共催 など）

地球環境 For the Earth　地球環境のサステナビリティの確保に向けて

●地域に根差した環境取組

地球環境保護への取り組みの一環として、各地での植林活動を始め、生物多様性保護を目的とした外来種植物の駆除活動、資源の再利用に向けたリサイクル活動などに取り組んでいます。

●機関投資家としての環境取組

秋田県の再生可能エネルギー導入の拡大と産業振興が期待できる洋上風力発電事業向けのプロジェクトファイナンス等に投資しています。

当社の責任投資活動の詳細は右記の2次元コードからご覧ください。

女性の活躍推進 For Women

地域の女性の活躍推進を応援する

●働きやすい職場づくり

▲女性活躍推進セミナー(北海道)

地域企業の経営者や人事担当者をお招きし、「女性の活躍推進」や「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにしたセミナーを開催しています。

●保有不動産への保育所・学童保育誘致

▲鎌倉第一生命ビル「うちゅう保育園かまくら」

社会課題となっている待機児童対策の一環として、自社保有不動産に保育所や学童保育を誘致するなど、子育てしやすい社会の実現に貢献しています。

高齢者支援 For Seniors

地域に密着した活動を通じて高齢者をやさしく見守りたい

●高齢者見守り活動

▲認知症サポーター養成講座(長崎県)

認知症を正しく理解してもらい、認知症の方や家族を温かく見守る認知症サポーターの養成をはじめ、高齢者が安心して暮らせる見守り活動を実施しています。

●コグニサイズ

▲認知症予防体操「コグニ体操」

国立長寿医療研究センターが開発した「頭」と「身体」を同時に使うことで脳とからだの機能を効果的に向上させる運動プログラム「コグニサイズ」、音楽付き認知症予防体操「コグニ体操」のDVD提供等を通じて認知症予防啓発を行っています。

地域活性化 For Society

ニーズをとらえ地域の強みを引き出す

●経営者向けのセミナー

▲経済セミナー(三重県)

第一生命経済研究所のエコノミストをはじめ、さまざまな分野の専門家によるセミナーを開催し、ビジネスや経営に役立つ情報をお届けしています。

●地元サラ川

▲ジモサラ(地元サラ川)

長年継続してきた川柳コンクールの知名度や運営のノウハウを活かし、地域課題への関心や共感をいただくことで、自治体の課題解決に向けたお手伝いをしています。

次世代支援 For Next Generation

未来への一歩を心強くサポート

●黄色いワッペン贈呈事業

毎年、全国の小学校の新入学一年生に交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を贈呈しています。

●金融保険・消費者教育

ライフイベントや消費者被害事例等について、すごろく形式で楽しみながら学習でき、お金の大切さや将来に備えることの重要性を体感いただける「ライフサイクルゲーム」を全国の学校へ提供し、当社社員による出張授業も行っています。

安全・防災 For Safety

いざというときの安心のために

●犯罪・災害に関する注意呼びかけ活動

▲振り込め詐欺被害防止活動(富山県)

自治体・警察と連携し、防犯や防災、交通安全に関する注意呼びかけ、不審な点を発見した際の連絡などの活動を行っています。

●こども110番の家

▲こども110番の家(大阪府)

いざというときに子どもたちが避難できるように、地域の営業拠点を「こども110番の家」にする取組みが広がっています。

スポーツ振興 For Sports

健康サポート活動として

●Run with You

市民マラソン大会への協賛やランニング教室の開催など、ランナーの皆さまを応援するプロジェクト「Run with You」を全国で展開しています。

●第一生命全国小学生テニス選手権大会

「世界に通用する選手育成のためにはジュニアからの強化が重要である」という(公財)日本テニス協会の趣旨に賛同し、1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、当社所有のコート(東京・仙川)を大会会場として提供しています。これまでに、錦織圭選手、奈良くるみ選手ら、国際的に活躍する選手を多数輩出しています。

第一生命の社会貢献活動の歴史

結核対策のために「保生会」設立

明治末期の日本国内では結核が猛威を振るっていました。医者であり第一生命創業者でもある矢野恒太は結核亡国を憂い、北里柴三郎博士を助けながら、その予防と撲滅を説いて歩きました。1913年には日本結核予防協会を設立、北里柴三郎が理事長、矢野恒太が理事に就任しました。また、小冊子「通俗・結核予防の心得」（矢野恒太著・北里柴三郎閲）を作って無料配布したり、講演や執筆にも奔走します。

1935年、生命を保つという意味から財団法人「保生会」を設立、この取り組みが第一生命の社会貢献活動の先駆けともなりました。1939年には長期療養所である「保生館（後の保生園）」を東京の東村山に開設するとともに、全施設を結核予防会に寄付しました。

なお「保生館（保生園）」は、現在「新山手病院」となっており、その裏山が「八国山」といわれることから「八国山病院」の愛称でも知られています。

●保生会

やの　つねた
矢野 恒太

保険会社に就職ののち農商務省に勤務し、保険業法を起草する。また同省商工局保険課の初代課長に就任。1902年わが国最初の相互会社第一生命を創立、以後専務取締役、社長、会長を歴任した。また「日本国勢図会」を刊行し、統計知識を国民に普及することにも尽力した。

きたさと　しばさぶろう
北里 柴三郎

医学博士で伝染病研究所（現在の東京大学医科学研究所）の初代所長。第1回ノーベル医学・生理学賞の候補者にも挙がり、私立北里研究所（現在の学校法人北里研究所）創立者兼初代所長並びに北里大学学祖となる。日本医師会設立者兼初代会長。

写真提供：学校法人北里研究所

●保生館

●保生園

●新山手病院

写真提供：公益財団法人結核予防会

保健衛生向上のために「保健文化賞」創設

保健文化賞は、戦後の衛生環境が悪化していた中、わが国の保健衛生の向上に取り組む団体・個人に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省などの後援を得て毎年実施しており、最も長い歴史を持つ第一生命主催の社会貢献事業です。

例年、受賞者は天皇皇后両陛下の拝謁をお受けいただいています。

●第75回保健文化賞贈呈式

第一生命の社会貢献活動

環境の保全

第一生命財団とともに、「都市の緑3表彰」（緑の環境プラン大賞、緑の都市賞、緑化技術コンクール）への支援を通じ、“都市環境の保全や再生”“地域コミュニティの形成・生活の質の向上”に資する緑化の取組みに貢献しています。

次世代支援

●認定NPO法人
トリトン・アーツ・ネットワーク

第一生命ホール（晴海）を拠点に公演事業と学校や福祉施設などに音楽をお届けするアウトリーチ活動を行っています。

●VOCA（ヴォーカ）展・
第一生命ギャラリー

40歳以下作家による現代美術展の協賛、当社ギャラリーでの受賞作品展示を通じ若手芸術家を支援しています。

●子どもの未来を応援する
保育所等助成事業（第一生命財団）

子どもたちの健やかな育ちを支援するため、保育所および認定こども園等を対象に、遊具や教材等の助成事業を行っています。

社員による地域・社会貢献活動

●全国各地の社員によるボランティア活動

左より、被災地での救援物資提供活動、海岸清掃ボランティア活動

●社内AED講習

定期的に開催し、救命措置の大切さを伝えています。

第一生命保険株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
電話 (03) 3216-1211（大代表）
◎ホームページ　https://www.dai-ichi-life.co.jp/

お届けしたのは…

生涯15707－04　2025年4月版